

特定非営利活動法人 地域福祉を考える会  
Society of Study for Community Welfare (略称SSCW)

発行：NPO法人 地域福祉を考える会  
発行人：理事長 川廷 宗之  
事務局：〒259-1142  
伊勢原市田中256番地の1-301  
TEL・FAX 0463-95-6665  
メール rtbyw740@yahoo.co.jp

# ニュースレター



## 法人としての10年を 振り返りながら

理事長 川廷 宗之

「地域福祉を考える会」は、今年で22年目を迎えますが、NPO法人になってから、今年度の11月で10周年を迎えることとなります。何事でもそうですが、創って行くことも大変ですが、維持発展していくのもそう簡単ではありません。その意味で、10周年を迎えられたことは、内外の皆様の様々なご参加ご協力があったなし得たことであり、改めて御礼を申し上げます。改めて御礼を申し上げます。改めて御礼を申し上げます。

法人としての10年は、伊勢原市からの児童コミュニティ・クラブの運営委託や、様々な関係先からの依頼による成年後見活動が大きな柱となってきました。現在の活動としてはこの二つが大きな柱として育って来

ていますが、これらを委託や依頼いただくには、法人化以前からの様々な学習活動や実践活動、友愛電話(現在13年目に入る)やオンブズパーソン活動(現在休止中)の活動、そして母子支援プログラムの「きらきらひろば」などの積み重ねがあったことも記しておきたいと思っております。

これらの活動を支えてきた会員は、創立時から頑張ってきて、あっという間の10年でした。ということは会を支える方々の年齢が10歳年を取ったという事でもあります。その意味では、今後の10年間では主に支える会員の交代もあるでしょうし、また、日本全体としても本格的に人口減少社会に入っていきま

すので、先を見通すのは容易なことではありません。それに備えて、学習グループ「未来(研究会)」(2年目)を立ち上げるなど、少しずつ準備をしていますが、まだまだ不十分です。日本の今後10年・20年は、もちろん神奈川県も伊勢原市も例外なく人類史の中でもまれに見る激変する社会に突入していくこととなります。

そういう中で、本会がどう社会貢献をしていくか、現在までの活動をしっかり見据えつつ、「考えて」かつ「実践」に取り組んでいきたいと考えています。

10年間のご支援やご協力に感謝しつつ、今後の一層のご指導ご鞭撻をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

**清田(キヨタ)歯科医院**  
 伊勢原市伊勢原 2-1-5 2階  
 0463-93-4180 駐車場有  
 伊勢原駅北口踏み切り近く  
<http://ameblo.jp/dr-kiyosachi/>

歯科医師 清田耕造・幸子

当院ではスタッフそれぞれの得意分野をいかしチームでの治療を行っております スタッフ皆の目と耳と手で治癒と予防をお手伝いします



買う身になって奉仕する  
技術と信用の店

 (有)ヤハギ電器販売 

〒259-1141 伊勢原市上粕屋739-11  
 ☎ 0463(95)4282 FAX 0463(92)1911  
 携帯:090-8892-5056

## 本会の10周年にお祝いのお言葉を寄せていただきました



### 10周年のお祝い

伊勢原市長  
高山 松太郎

特定非営利活動法人「地域福祉を考える会」が、設立10周年の節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、高齢者、障害者、児童に目を向け、「誰もが優しく支え合うまち」を目標に、福祉や子育てに関する様々な活動を展開されております。友愛電話訪問サービス事業をはじめ、成年後見人に関する事業や子育てサロン事業、児童コミュニティクラブの事業など多様な活動により、本市の地域福祉が充実してきたものと考えます。こうした皆様の活動に心より敬意を表するとともに深く感謝を申し上げます。

本市におきましては、地域福祉計画に基づき、地域の支え合いの仕組みづくりの推進、高齢者や障害者の権利擁護など、地域住民や団体、事業者などと連携し、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域福祉の推進を図ってまいります。

また、「健康づくり」につきましても、関係部署による「連携・連動推進チーム」を組織し、スポーツ、健診、食育、生きがいづくりを4本の柱として、健康寿命を伸ばし、健康で活力に満ちたまちづくりを進めてまいります。

皆様には、今後も引き続き、高齢者や障害者などが地域で安心して生活ができるように、また、子育てを地域全体で支援し、子どもを産み・育てやすい環境づくりに向け、「子育てひろば」や「児童コミュニティクラブ」などの子育て支援に、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

むすびに、地域福祉を考える会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



### 10周年に寄せて

(社福) 伊勢原市社会福祉協議会  
会長 岩崎 勲

NPO法人地域福祉を考える会が法人設立10周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴会は平成4年から少子化、高齢化が進行する中で、市内や近隣地域の福祉の増進を図るための活動に取り組みられ、平成16年にNPO法人を取得されました。

この間、一人暮らし老人友愛電話、成年後見受託事業、子育て支援事業など、考える会から行動する会へと脱皮され、広く一般の方々にも参加いただける講演会の実施など、普及啓発活動も行っておられ、福祉全般に係る専門性を発揮されて、多くの市民からの方々から頼りにされております。

私ども社会福祉協議会も地域福祉を推進する団体として「ともに支え合い、ひとりひとりを大切にするまちづくり」を基本方針に、住民ひとりひとりの個性や暮らしを尊重し、お互いに助け合いの気持ちを持つことにより地域福祉をつくりあげていく努力をしております。

貴会の基本方針の中で、法人としてのコンプライアンスや人権尊重、社会福祉専門性の発揮と向上を謳っておられます。

まさに、地域福祉を進めるための大きな人材の宝庫であり、多岐分野にわたる専門性と実践が必要とされているところです。

社会福祉協議会としまして、貴会が本市の地域福祉の推進に向け、様々な分野で活躍されることを期待いたしております。

結びに、『地域福祉を考える会』の益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念して、お祝いの言葉といたします。





「やさしさ」や  
「心の豊かさ」を  
再認識する時

元会長・東海大学名誉教授  
大 櫛 陽 一

「地域福祉を考える会」の設立22年、NPO法人10年、ニュースレター70号、おめでとうございます。この会を設立した当時は、人類が経験をしたことがないスピードで高齢化が進み始めた時代でした。「恍惚の人」と名付けられた小説が登場し、徘徊で家を出た痴呆老人が行方不明になって社会問題になりました。

私の父もパーキンソン病で、義理の母はアルツハイマー病で、それぞれ行方不明になり何度も探し回ったことがありました。自分の家庭だけで対応することが困難になっていました。地域コミュニティで福祉を支える必要性を強く感じて、この会の発足に参加しました。

当初は、色々な社会の問題を福祉の視点から勉強して、「考える」ことを中心にしていました。その後、色々な「活動」が行われてNPO法人化されたことを大いに喜んでいました。私は戦後間もない昭和22年の生まれですが、当時と比べて物は豊になった社会と思います。でも、世界的に厳しい競争社会になり、「やさしさ」や「心の豊かさ」の重要性を再認識する時がきているように思います。続いている災害、増え続ける独居者、貧困世帯の増加、障害者・母子父子世帯の孤立化、支えを必要としている子育てなど、地域福祉を必要としている状況は、さらに多くなっているように思います。

この会のさらなる発展を期待しています。



「地域福祉を考える会」  
を顧みて

(69号より抜粋)

顧問

志 村 忠 臣

私も今年から顧問として、皆様と共にご活躍を支援させていただくことになりました。

20年ほど前、ちょうど山口勝夫顧問が市議選に出馬の際に、応援に来られた元郵政大臣の八代英太先生が私の先輩で、連絡を受けて選挙事務所に向ったのが、山口勝夫顧問との出会いでした。そんなことがご縁で山口顧問のお誘いで地域福祉を考える会に入会させていただきました。

私が入会した当時の会長は理学博士の大沼敏夫先生でした。当時厚木在住の会員は大沼会長、現玉川グリーンホームの原田茂理事長と私の3名でしたが、勉強会、研修会と将来の福祉に熱心に取り組む前向きな姿勢に徐々に引き込まれるものがありました。時が過ぎ川廷宗之会長になって「考える会」から「考動する会」に変わり、一番私の印象に残っているのが教育評論家尾木直樹先生をお迎えして伊勢原文化会館で公開講演会を開催したことです。

顧みれば歴代の会長もすでに現在の社会福祉状況を見据えて、「考動」への道を歩んできたことと気付かされます。現在社会や家庭の変化の中で子どもや子育て家庭をめぐる課題は複雑化・多様化・深刻化をしている中で、NPO法人地域福祉を考える会は益々地域にとって必要不可欠な存在ではないでしょうか。

これからも会員の皆様のご活躍を期待いたしております。



有限会社

オール・カマー

神奈川県知事免許(5)第20905号  
神奈川県知事許可(般・22)第64143号

〒259-1142 伊勢原市田中543番地の5  
TEL 0463(92)0015 FAX 0463(92)4993  
URL <http://www.allcomer.jp/>

損害保険代理業  
生命保険代理業



〒259-1132 伊勢原市桜台1丁目15番27号 Mビル 4F

お問合せ

☎ 0463-93-3790

FAX.0463-90-3076 E-mail: [s-hoken@ec4.technowave.ne.jp](mailto:s-hoken@ec4.technowave.ne.jp)  
URL: [http://www.dairitenhp.com/s\\_hoken/](http://www.dairitenhp.com/s_hoken/)

# 【NPO法人地域福祉を考える会 沿革】

- ★ 当会は、神奈川県リハビリテーションセンターの医師や東海大学の教授、福祉施設関係者、ボランティアによって発足しました。活動は、主に障がい者・高齢者の福祉問題に関する勉強会や情報交換を中心に実施してきました。
- ★ 会は、特に伊勢原市の『在宅介護支援センター』整備実現への働きかけや、『痴呆性老人徘徊SOSネットワーク』の実現に向けた運動の活動を通して、『考える会』から『考動する会』に変化してきました。
- ★ 1999年頃より子どもを取り巻く状況にも注目し・子育て問題他に関する学習を通じ、シンポジウム等、市民にその成果をお知らせしたり、問題提起をしたりして参りました。
- ★ 現在会員は約84名です。益々活動範囲も広がる中、個々の会員の力を最大限に生かし、未来へ向けた地域福祉活動を目指しています。

## 地域福祉を考える会・沿革

1992年 4月	「地域福祉を考える会」発足
2001年 11月	「友愛電話活動」開始
2002年 4月	「オンブズパーソン活動」開始 (現在：休止)
2004年 11月	「特定非営利活動法人」認証・設立
2005年 7月	「子育てひろば“きらきら”活動」開始
2006年 5月 10月	「成年後見受託事業」開始 「児童コミュニティクラブ事業」開始
2012年 7月	未来セミナー「読書会」開始



歴代会長	
初代(故) 宮崎一興	当時：神奈川県立リハビリテーション病院院長
2代目 山口和郎	当時：神奈川県立リハビリテーション研究研修所所長
3代目 大櫛陽一	現在：東海大学名誉教授
4代目(故) 大沼敏夫	理学博士
5代目 梶田紀子	当時：伊勢原市ボランティア連絡協議会
6代目 川廷宗之	当時：東海大学健康科学部教授
7代目 志村忠臣	現在：厚木市民生児童連絡協議会愛川地区副会長
8代目 川廷宗之	現在：大妻大学教授



# 友愛電話活動



## 友愛電話について

平成13年1月の当会の沖縄研修旅行で、沖縄の社協が高齢者に対して様々なサービスを実施されていまして、その後伊勢原でも何かできないかと理事長を中心に検討が始まりました。その結果高齢者で日中、外に出られずコミュニケーションがとりにくい一人暮らしの方や、障害を持つ方に対して、よもやま話など気軽に話相手になる電話サービスになれるよう取り組みました。第1回目研修には10名の参加があり、11月26日から早速、社協の相談室をお借りし開始してから13年が経過しました。

[上枝きよ]

## 「友愛電話に出会って」

私と友愛電話の出会いは、10数年前の研修会でした。その後、心の悩んでおられる方から毎晩の電話があり、何と返答をしてよいのかと悩んでいました。

そのような時「電話での対応について研修会」を広報から見つけ、参加しました。電話の相手を受容し、心に寄り添うこと、また具体的な電話の対応について詳しく学びができました。その後この研修会が「友愛電話ボランティア」の養成講座であることを知りました。学んだあとは、日々の生活に役立てばと思っておりましたが、勧められて、未熟ではありますが、活動に参加させていただきました。初めは相手の何を一生懸命理解しようと、大変疲れてしまいました。現在は、電話の相手の話に心を傾けて、楽しい時間を共有することを願っております。この活動を通し、私は相手の気持ちに寄り添うことの大切さを学びました。そして友人や歳を重ねた両親に対して、以前よりも自然に楽しい会話ができるようになり、友愛電話が、私の宝となったことを感謝しています。

[小林智子]

登録された一人暮らしの方や日中で話し相手がない方等に、電話友だちとして週1回(月曜日午前・午後、木曜日)社会福祉協議会の協力を得て電話サービスを実施しています。

## 友愛電話活動で感じたこと

現在は高齢者社会になり、ますますお年寄りが増加している反面、昔と異なり無縁社会といわれる世の中になっているようです。また、各地域で老人会に入る方が以前より減少している事が先般でも報道されました。さらに独居老人も多くなっており、一日中誰とも話ことなく、テレビなど見て生活してられるようです。このような中、この友愛電話活動、更なる必要性を感じております。例えば、電話の中で感じたことをあげてみますと

### ◎良かったこと・嬉しかったこと

- ① いつも、友愛電話を楽しみに待っているよと話される場合など
- ② 体調不良又は手術後で、あまり会話が出来なかった方が、元気に回復され電話口に出られた場合など
- ③ 人生の先輩でもある高齢者などより、教訓的な話などお聞きした場合など

### ◎対応に苦慮したケース

- ① 一人暮らし等の生活の中で精神的または身体的な問題が生じて、自殺したいなどと言われた場合など
- ② 直接お逢いしてお話をしたいと要望された場合など



一方、友愛電話の利用者が年々減少し、伸び悩みの現状があり、再考する必要も感じます。また、高齢者詐欺が増えている現在、毎日のように警察から詐欺電話に注意するように防災無線放送が流れています。これらも少なからず、この電話申し込みをためらう要因になるのかなど思ったりすることもありました。

この友愛電話を発展・充実させるためには、PR活動をさらに拡大することが必要不可欠な条件だと思います。更に多くの方々に安心してご利用いただける友愛電話にしていきたいと思っております。それには、伊勢原市、社協、民生委員などの応援・協力を得ることの必要性を感じます。また、友愛電話の利用者の増強活動を定期的に行う施策を講じることも必要と考えます。

[菅沢克巳]

# 児童コミュニティだより



## 伊勢原1

児童数72人でのスタートから長い夏休みも無事に過ごすことが出来、指導員も子ども達と共に成長したと思います。後期はそれを礎として、みんなが協力し合い居心地のいい場所になれば良いと思っています。

26年度後期に向けての思い & 児コミの活動



## 比々多1

事故もなく半年が過ぎました。後期に向け元気で朗い児童がコミの生活を通し仲間と共に遊びに運動に充実した日々を過ごしていきます。これからも保護者との連絡を密にし、安心・安全管理に気をつけ児童を見守っていきます。

## 伊勢原2



子ども達は色々な思いを抱えコミに来ています。最低限のルールはきちっと守り楽しいコミ生活を過ごして欲しいと思います。色々な行事、遊びを通しコミュニケーションをとり、子ども達の成長を見守ってまいります。



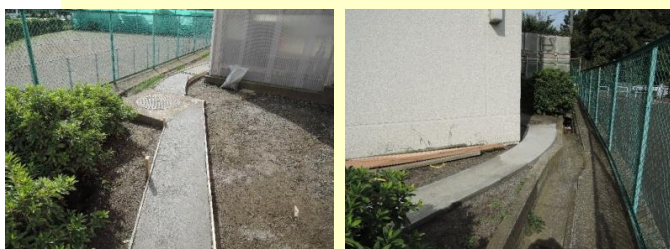
## 比々多2

今年の夏休みも無事に過ごす事ができました。1年2年をあわせると41名。その下級生を3年4年の児童と一緒に学び活動を共にしてくれました。以前より掲げてきた「自立と共存」を目標に後期も指導員が活導、各児が自信と達成感を感じながら日々を過ごしていきたい。



### 東側道路がきれいになりました！

比々多小内（比々多第1児コミ）の横通路が夏休み中に小笠原工業様のご厚意で舗装されました。子どもたち・親たちからの感謝の声をお届けします——「本当にありがとうございました。」



設立10周年を皆様と共に御祝い申し上げます。

副理事長(元児コミ代表) 船橋 晴

設立1年後の頃、市の児童コミュニティークラブ(児コミ)の運營業務委託事業者の公募がありました。応募後の種々な審査を経て18年10月 伊勢原第1・比々多第1、20年4月 伊勢原第2・比々多第2の運営を受託しました。

子ども達の成長にとって大切な時期の支援に携わる喜びと責任感をもって開設準備に情熱を注ぎ、その後、皆様のご指導・ご支援を頂きながら今日を迎えました。感謝です。

伊勢第1では、下校してくる児童がリラックス出来るよう室内をタタミ敷きにしました。今では児コミのタタミの生活・座位が思いがけず日本生活文化の伝承に貢献しています。

27年4月から「子育て・子育て支援の新制度」が施行されます。利用者にとって良い制度になるよう見守りたいです。

現在、児コミ生活の場は狭く、限られた環境下での集団生活の中で各児が楽しく過ごすために指導員が企画した活動計画を基に生活体験を広げていますが、学校生活から解放された放課後の時間帯を自分の考えで活動し、又地域の方々と触れあう機会も作れたら良いと思っています。未来を担う子供たちが逞しく、思いやりの心と夢を持って、心身ともに健康に楽しく育つ日々。そんな支援をこれからも、皆さまと共に行っていきたいと10周年を迎え改めて思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

### NPO法人取得10周年、おめでとうございます。

児童コミュニティークラブも伊勢原市より受託を受けてから7年になります。

その間大きな事故もなく安心・安全な日々の提供が出来ている事は、保護者の皆さまのご協力と指導員の皆さんの配慮のおかげと感謝申し上げます。

今後とも児童のより健やかな成長の日々を見守っていただけますよう学校の先生方、地域の皆さま、宜しくお願い致します。

4児童コミュニティークラブ 代表 神山 幸子  
副代表 安武 敬子

# 成年後見活動

高齢や障がいのために、判断能力にハンディを負っている人たちがいます。その人たちが契約などで不利益を被ることが無いように、横浜家庭裁判所のもとでその生活を見守り、財産管理・契約代行など、法人後見活動をしています。

## ＜成年後見部会員の紹介＞

部会員の人たちにインタビューをしました。以下に紹介します。

- ① 今熱中していること、または特技
- ② 今一番行きたい旅行先？
- ③ 自分を元気にする言葉

### 【中 園子・部会長】

- ① 家の片づけ
- ② ローカル線・蒸気機関車の旅、瀬戸内海の船旅
- ③ 明日に架ける橋 Bridge Over Troubled Water



### 【杉浦 正規】

- ① 笑顔
- ② スペイン
- ③ 「支え愛」



### 【長谷川 七生子】

- ① 無芸爆睡（特技？）
- ② なんにも考えず、なんもしないでボーッとされている場所。静かな場所
- ③ ・「一切従心転」・「一生勉強、一生青春」・「雨の日には雨の中を、風の日には風の中を」



### 【小暮 恒夫】

- ① 歩くこと
- ② グリンデルワルド
- ③ 「前を見る」



### 【本田 一夫】

- ① サッカーのテレビ観戦
- ② 温泉
- ③ 医療・福祉サービスや保育・教育サービスを平等に利用できる社会を！



### 【梶田 紀子】

- ① 子育て？（生後2ヶ月の孫育て）百面相や一挙手一投足に日々癒されています。
- ② イタリアとギリシャ 一人旅は苦手。どなたか、一緒に旅行してくださる方を募集中です。
- ③ 「強くなくては生きていけない。優しくなくては幸せになれない」  
「運命を引き受け、粘り強く芯強く生きることが大切。そして常に自分を磨きなさい」



### 【勝田 俊一】

- ① 登山
- ② 北岳
- ③ 「山に向かう心」



### 【金子 みどり】

- ① 料理人情（時代）小説に登場する食材や味付け
- ② 還暦女子会（おばさん）旅行で行く出雲、湯布院や黒川温泉高千穂峡
- ③ 「美味しかった」や「楽しかった」デイサービスの利用者様からの言葉



### 【原田 浩子】

- ① ハワイアンキルト
- ② 韓国
- ③ 「Let it Go」



### 【中村 正志】

- ① 読書（歴史もの）
- ② イタリア・スパゲティ・パスタをお腹一杯！
- ③ 「明日があるさ」



## 活動報告

成年後見部会では、現在市民後見人（会員）の養成を行っています。

第1回成年後見制度研修会（9/20）として「成年後見制度の基礎知識」（講師・佐々美弥子・ばあとなあ神奈川運営委員長）を、第2回研修会（10/18）では「障害者総合支援法と障害者の理解」（講師・勝田俊一）を開催しました。

次回の第3回目（11/1）では法律から見た後見制度「後見制度概論」（講師・小澤靖志弁護士）の講演とテキストの読み合わせを行い、年度内に、合計4回の研修会を予定しています。



第1回講師  
佐々美弥子氏

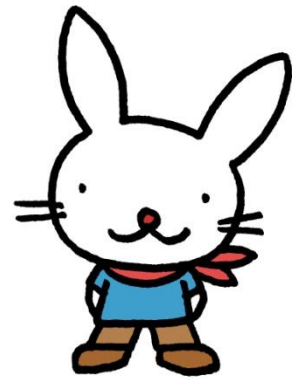


第2回講師  
勝田俊一氏





# 子育てひろばきらきら



## <子育て部会>

小さなお子さんをお持ちの方なら、誰でも気軽に立ち寄り下さい。  
ゆったりとした雰囲気の中、おしゃべりしながら……

場所：伊勢原シティプラザ1階ふれあいホール  
開催：毎週火曜日(但し12/23, 30・1/6・3/31休み)

のぼり旗と看板がお出迎え



受け付けはこちら



広い場所で「のんびり」と



## ♥—— 子育てサポーターのひと言 ——♥

- きらきらで楽しそうにお話をしているママたち、ひろい場所を目輝かせのびのび遊んでいる子どもたち、そんな和やかな「きらきらひろば」が大好きです。いつまでもサポーターを続けていきたいです。(永田)
- お子さんを見守り、お母さんに寄り添い、子育てのお手伝いをしています。ゆっくりゆったり母と子の時間が過ごせるよう応援しています。(青木)
- 「元気でしたか？」一週間ぶりの親子さんとの挨拶で始まるひろばは、私も楽しみにしております。今日の子育ての日々が「楽しかった日々」に繋がることを信じています。(吉羽)

おはなしぼる〜んさん



ハ〜イ 伸ばして



もぐら座さんとのひと時



『開設当時(H17)のことを忘れることなく子育て中の保護者のフリースペースおしゃべりしたり、くつろいだり、情報交換したり、子育ての知恵や経験を交流できる(集い)場所として(母親支援)の趣旨を忘れることなく続けていきたいと一同願っています』

## 未来セミナー 読書会



平成24年(2012年)から読書会は始まり  
ました。

地域での暮らしや地域福祉の、ベースになる  
様々な社会動向を読書を通じいろいろな立場から  
考えあう場所として、月1回宮森孝史理事アド  
バイザーのもと、皆さんと共に読み、共に考  
える時間(読書会)です。

### ・ ・ わからずに参加して ・ ・

2012年に「未来セミナー読書会」のお誘い  
を頂いた時、私は当初、どのような内容の読書会か  
を確かめもせず、何となく参加しました。開講→  
学習計画→日時の打ち合わせと進むうちに、私の  
イメージとは違った形式の読書会であるという事  
が解り、すこし戸惑いました。この会は「地域で  
の暮らしや地域福祉をベースになる様々な社会動  
向を、読書を通じていろいろな立場から考え合う  
場所」というチラシのテーマを改めて見て、こ  
ういうのもいいねえと納得!

まず、読書会の進め方としては、出席者同志が、  
自分の推したい本を席上で提案し、そこで選ば  
れた本を、各自で購入して読んでくる。著者の内容  
や読後の感想などは当番制にし、決まった人が原  
稿を作ってコピーを全員に配布したあと、本人が  
みんなの前で発表するというものであります。

当番になった時は、家事をしながら、また電車  
の中で、覚え書きのメモを書き直したりと、原稿  
完成までは本当に脳を磨きました。

当番でない人も、読後の感想は人それぞれで、  
見方、とらえ方が幅広く展開して行く楽しみも味  
わえます。謂わば私のための「脳活」でしょうか?

現在のアドバイザー宮森孝史(東海大学教授)  
先生の、臨床心理学者としてのお話が聞きたくて、  
面白くて参加している一面もあります。

今まで、思っても見なかったいろいろな本に出  
会い、あれこれ話を訊きながら気づくことも沢  
山ありました。これも長生きさせて貰っているお蔭  
と感謝しています。

【柳川千恵子】



前列右から柳川さん、2人目・宮森理事、後列左端・鳥海さん

### 有意義な時間を共有して

読書会は、3年目になります。メンバーが推薦  
する本を出し合って選びます。

そして担当者をきめます。

私の1年目の担当は、商品として売買される貧  
しいアジアの子どもたちを題材にした「闇の子供  
たち」・梁石日著。2年目は、親や周囲が決めな  
ければ何も決められない子どものような大人は悲劇  
を生きるようになるだろうと、警告する「なぜ・  
子どものままの大人が増えたのか」・曾野綾子著。

3年目の担当は、数学者が日本人の誇りと自信  
をとりもどせと鼓舞する「日本人の誇り」藤原雅  
彦著でした。

アドバイザーは、大学教授で臨床心理士の宮森  
孝史先生です。研究されていることや、現場から  
の生の声をわかりやすく話してくださいます。出  
席者からも、体験からにじみでてくるお話、経験  
にうらうちされた意見や感想、日頃の悩みや疑問  
などがテーマにそって話されます。好きな本を、  
好きな時に、好きなように読むのとは違った楽  
しみがありません。学校で先生を中心にみんな  
で話しているような喜びと、期待感があります。  
私の1つの有意義な居場所になっている密度の濃  
い2時間の場です。

【鳥海あき子】

地域福祉を考える会  
**活動報告**



**講演会「昔話が語る子供の成長」**

共催：伊勢原市立図書館 後援：市ボランティア連絡協議会

9月26日(金) 13:30~15:30 市立図書館AVホールに小澤俊夫氏(独文学者・昔ばなし小澤研究所所長)をお迎えして行いました。

昔話は語り終わると消えてしまう。語られている時間の間だけ存在する、時間に乗った文芸。児童文学とは異なる。簡単・明瞭なリズムに乗った語りの中で、聞く人の心に生活の中の根本的な問題を気付かせてくれる。これからも昔話を伝承して行く事の大切な事、読み聞かせの実技が披露され、受講生は真剣に傾聴していました。



【以下アンケートに寄せられた皆さんからの感想です】

- ・昔話の大切さ、奥深さ、楽しさを痛感しました。
- ・美しい声、聴き易く 目からうろこの話が沢山ありました。
- ・人間の素晴らしさ、生きる事の尊さを感じる素晴らしい話でした。
- ・昔話には随分深いメッセージが有る事を知りました。
- ・昔話と子どもの成長のつながりが楽しく勉強できました。
- ・人生に勇気を貰った。「今が一番若い！」熱中する事を持ち、懸命に生きて行きます。

(当日は満席で、申し込みの時点でお受けできず申し訳ございませんでした。)



**第47回 伊勢原道灌まつり 模擬店出店**

10月4(土)、5日(日) 両日で行われました。5日は台風18号の影響の為、午後2時で終了となりました。BOOK OFF駐車場でラムネ・飲み物等を販売しましたが、残念ながら完売にはなりませんでした。



# 認定NPO法人の取得をめざして

～神奈川県指定NPO法人審査会で『指定相当』～



地域福祉を考える会も、間もなく法人化10年を迎えようとしています。

この間、会員の皆様・支援くださる周囲の皆様に支えられ、事業も着実に伸張してまいりました。しかし、子育てひろば“きらきら”の常設化や成年後見受託の増大など多くの課題に対応するためには、人材の育成や場所の確保等に要する資金が問題となります。

そこで、ご寄附いただいた方が所得税・法人税・市県民税の寄附金控除が受けられる『認定NPO法人』の取得を目指し、寄附金を受け入れやすい環境をつくりたいと考えており、そのために平成25年から寄附金(一口3,000円)を幅広く募っております。

『認定NPO法人』取得前に、『神奈川県指定NPO法人』の申請を行い、10月中旬の県審査会を無事通過し、今後神奈川県議会の承認を経て『指定』が受けられる見込みです。

今後とも、会員ご本人をはじめ、お知り合いの方・会社・商店等にご寄附のお願いをお呼びかけさせていただきますようお願いいたします。

**寄付者一覧 H26.8～9**  
(敬称略)

- (4口) 船橋茂紀
- (2口) 匿名(1件)
- (1口) 斉藤まり、斉藤亜紀、大石詩織、遠山光孝、西山彩乃、岩本さぬ

**合計 8件 36,000円**  
ご厚志ありがとうございました。

## これまで広告協賛でご協力いただいた皆様をあらためてご紹介いたします。

うたひめ  
**歌姫最中の**  
**きせいとう**  
**亀盛堂**

伊勢原北口烏居通り  
TEL 95-0246 日曜定休  
季節の和菓子をご用意しています

**スポーツショップ**  
**アイリス**

伊勢原市伊勢原2-6-27  
TEL 0463-93-5524  
オリジナルデザインのステッカー・Tシャツ等作成します

ガスのことならなんでもどうぞ!!

**テーエスガス株式会社**

代表取締役 高橋 宏昌

伊勢原市伊勢原1-4-3  
TEL 0463-95-3032(代)

花小代

平塚市横肉 (E.S.バテイオ製)  
サンドウィッチハウス  
**GORO**  
ゴロー  
電話 54-1525

**リフォームを実現するのは今!**

良心的な仕事で信頼をされている

**小笠原工業** どんな些細なリフォームもまずはご相談下さい。

電話・FAX: 0463-71-5451  
住所: 伊勢原市神戸 467

**「医食同源」**  
上海厨房  
**桂花楼**

中国上海料理  
各種大小宴会  
忘新年会  
(4名～80名様  
送迎バス有)

電話 0463  
**95-3916**

伊勢原市高森 3-1-44

**新鮮な魚料理が自慢**  
昼も夜も気軽に立ち寄れる

伊勢原駅南口、ヨーカドー隣のランチ&居食処『寛屋』。新鮮な魚料理が自慢の当店では釣り好きの店主が釣ってきた魚が並ぶこともあります。  
(狙い目は月曜日と火曜日)  
昼でも夜でもいつでも、魚料理を楽しみに、おいでください。

**ランチ**  
特選まぐろ刺身定食 1000円  
日替わりランチ 820円

**居食処**  
マグロの唐揚げ 580円  
自家製さつま揚げ580円

かんや 92-1329 桜台1-9-5  
ランチ&居食処 **寛屋** 【営業】11時半～14時・17時半～23時  
【定休】日曜日(月曜定休の場合あり)